

平成26年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	257, 950千円 <small>(政策枠 10,000千円) 局配分 247,950千円)</small>	新規・継続の別 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small>	継続 <small>政策的新規充実予算枠・ 局配分枠</small>
担 当 課	地域自治推進室 (222-3048)		

[事業実施に至る経過・背景など]

地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区長・担当区長を先頭に、区役所が柔軟かつスピーディにしっかりと支えていく協働の仕組みづくりとして、地域主権時代にふさわしい、「区民の提案(*1)」と「共に汗する共済型(*2)」のまちづくりを支援する新たな予算システム「京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり『区民提案・共済型まちづくり支援事業予算』」を平成24年度に創設した。

平成24年度の取組実績を踏まえ、平成25年度の予算枠を拡充し、区民の自主的、自発的な活動を更に活性化させるため、本市のあらゆる施策のベースとなる「地域力」の強化を図る取組を推進してきた。

*1 区民提案型支援事業

区基本計画に掲げる区のビジョンの実現に向けて区民が自発的、自主的に企画、運営する事業を募集し、審査会の選考を経て採択し、経費の一部を補助する「区民提案型支援事業」を各区において実施。

*2 共済型事業

区基本計画の実現や地域課題の解決に向けて、幅広い区民が参画する区民まちづくり会議における議論等を踏まえ、区民と各区役所が共済して取り組む区民ぐるみの事業を「共済型事業」として実施。

[事業概要] *各区における具体的な事業については、各区作成資料のとおり

平成26年度は、「区民提案型支援事業」の予算を1億円規模とし、区民が自ら取り組む地域のまちづくりに対する支援を更に拡充することにより、地域力の強化をより一層推進する。また、平成25年度から「だいすき！京都。寄付金」の応援メニューに「地域振興」を追加して各区への寄付を募っており、平成26年度予算においては、寄付金を当予算の財源として活用することにより、事業の充実を図る。

○ 各区予算額(単位：千円)

	配分額		配分額		配分額
北 区	18, 825	東山区	13, 820	右京区	29, 980
上京区	15, 960	山科区	30, 615	西京区	25, 550
左京区	22, 640	下京区	18, 420	伏見区	42, 765
中京区	17, 425	南 区	21, 950	合 計	257, 950

[参考(他都市の状況・事業効果など)]

平成26年度 京都市予算案 事業概要

北区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実					
予 算 額	18,825千円 <small>(政策枠 795千円) (局配分 18,030千円)</small>	新規・継続の別 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small>	継続 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small>			
担 当 課	北区役所地域力推進室 (432-1197)					
[事業実施に至る経過・背景など] 北区では、平成24年度に創設された当予算システムを活用し、区民主体のまちづくり活動を支援する「北区民まちづくり提案支援事業」（2年間で延べ42事業を支援），及び、区民との協働で地域課題に取り組む「共済型事業」を実施し、北区基本計画～はつらつ北区プランへの着実な推進を図ってきた。						
[事業概要] 平成26年度は、 <u>北区における地域・大学包括連携協定を活用した大学及び学生との連携</u> 、また、これまで以上に多様なまちづくり活動の担い手との連携を図り、新たな取組や事業の充実を図る。						
【区民提案型支援事業 ④5,040千円→⑤5,825千円】 ○ 北区民まちづくり提案支援事業（充実） 5,825千円 予算額を充実させるとともに、大学の研究成果の地域への還元や大学生によるまちづくり活動の促進を目的とした部門を新設する。						
【共済型事業 ④13,020千円→⑤13,000千円】 ○ コミュニティラジオ開局に向けた検討調査（新規） 1,900千円 防災情報の発信、大学連携、地域の活性化等をキーワードに、北区の特性を活かしたコミュニティラジオの開局に向け、日本初のNPO放送局である京都三条ラジオカフェを中心に、北区にある5大学・短大、民間事業者、地域住民等と連携し、運営体制や事業の見通し等について検討する調査を行う。 ○ 枝野地域における公共交通利用促進に向けたMM（モビリティマネジメント）の実施（新規） 2,200千円 枝野地域における市バス路線の新設に伴い、地元や京都産業大学と連携し、地域住民や学生等が幅広く参加し、地域の魅力や名所等を盛り込んだ公共交通が便利に利用できるマップづくり等を行うワークショップを開催するなど、公共交通利用促進に向けた「モビリティマネジメント」の取組を推進する。						
など [参考（他都市の状況・事業効果など）]						

平成26年度 京都市予算案 事業概要

上京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	15,960千円 (政策枠 670千円 局配分 15,290千円)	新規・継続の別 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	継続 政策的新規充実予算枠・ 局配分枠
担 当 課	上京区役所地域力推進室(441-5029)		

[事業実施に至る経過・背景など]

上京区では、上京区基本計画に掲げる「縊で織りなす 住みよいまち上京」に向けたまちづくりの推進のため、これまで地域の皆様とともに「上京区民まちづくり活動支援事業」、「上京区くらしの安心安全学区活動支援事業」の区民提案型支援事業、「上京の魅力発信事業」をはじめとした共済型事業に取り組んできた。

[事業概要]

平成26年度もこの流れを大事に取り組むとともに、これまでの成果を反映し、新たに、区民提案型支援事業である「新庁舎開庁記念イベント支援事業」、共済型事業である「減災力向上推進プロジェクト事業」、「みんなで空き家対策を考えよう」事業」の3つの取組を中心に展開していく。

【区民提案型支援事業 ②4,460千円→③5,130千円】

○ 新庁舎開庁記念イベント支援事業（新規） 1,500千円

平成27年1月の新庁舎供用開始に向け、新庁舎が区民の方々が主役となる地域づくりの拠点としても活用できるよう、また、新しい地域づくり（地域活動や文化活動）のきっかけとなるよう、区民の皆様の提案を受け、ともに取り組んでいく。

○ 上京区民まちづくり活動支援事業（充実） 2,905千円

「縊で織りなす 住みよいまち上京」を築くために上京区民の自発的、主体的なまちづくり活動への補助を通して、地域コミュニティの振興と区民参加によるパートナーシップのまちづくりを図ることを目的とする。昨年よりも多くの活動を支援できるよう取り組む。

【共済型事業 ②10,530千円→③10,830千円】

○ 減災力向上推進プロジェクト事業（新規） 500千円

地域でのきめ細やかな防災・減災対策の実現に向け、避難所運営時の名簿作成に役立つ「災害時安心カード（仮称）」の作成や、災害から自らの身を守るために防災ミニ講座の実施に取り組む。

○ 「みんなで空き家対策を考えよう」事業（充実） 700千円

関係局が進める空き家対策の事業と連携し、新たに地域密着型のミニ講座を開催すること等により、区内の空き家の発生の予防及び空き家の活用等について地域と協働して対策を考える。

など

【参考（他都市の状況・事業効果など）】

平成26年度 京都市予算案 事業概要

左京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	22,640 千円 (政策枠 950 千円) (局配分 21,690 千円)	新規・継続の別	継続 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別 局配分枠
担 当 課	左京区役所地域力推進室(702-1021)		

[事業実施に至る経過・背景など]

平成25年度は、「左京区まちづくり活動支援交付金」の交付件数が24件（平成24年度20件）に増加するなど地域コミュニティを強化・活性化するまちづくりの取組などが進んだ。

平成26年度は、「左京区まちづくり活動支援交付金」をはじめ、新規事業3項目を含む18項目の事業を実施し、区民との共済の下、更に取組を進めていく。

[事業概要]

区民提案型支援事業については、「左京区まちづくり活動支援交付金」の予算額を増額し、新しい部門を設けて支援制度の充実を図る。共済型事業については、北部地域振興や地域コミュニティ活性化、高齢化対策などに重点的に取り組む。

【区民提案型支援事業 ⑤7,258千円→⑥8,208千円】

○ 左京区まちづくり活動支援交付金（充実） 8,208千円

「重点分野部門」を新設し、公共性が高く、かつ左京区の重点課題の解決に貢献する特定分野（地域文化振興、里山整備、公共交通利用促進、定住促進など）のまちづくり活動に対して、補助限度額を700千円（地域活動部門は500千円）、100千円を超える部分の交付割合を2/3（地域活動部門は1/2）と優遇し、左京区の重点課題を区民の創意工夫で解決する取組を促進する。

【共済型事業 ⑤15,862千円→⑥14,432千円】

○ 久多地域の支え合い、助け合いのまちづくり～ボランティア乗合タクシーの毎月運行 550千円

公共交通のない久多地域において、ボランティアによる乗合タクシーの試行運転の毎月運行（月1～2回）に取り組み、病院ルート・買い物ルートなど複数の行き先を設定するなど地域に即した交通手段の確保を図る。

○ 防災対策を通じた地域コミュニティの強化モデル事業 1,600千円

1 避難所運営訓練手引きの作成

市立学校・私立学校・その他公共施設（国際交流会館）の3種類を避難所に指定している錦林東山学区をモデルに訓練のポイントをまとめた手引き書を作成する。

2 外国籍住民を交えた避難所運営訓練の実施

国際交流会館との連携の下、外国籍住民と地域住民との合同訓練を実施する。

3 住民手作り・総参加の区総合防災訓練の実施

自治連合会未組織学区や土砂災害警戒箇所が多い学区からモデル地域を選定し、住民手作りによる参加型の区総合防災訓練を実施する。

○ 高齢者くらしの応援サービス情報の発信（新規） 550千円

出張サービスを行う理容店・薬局など、高齢者の日常生活での困りごとの解消に役立つ介護保険外のサービス情報を掲載した冊子（6,000部）を作成する。

など

平成26年度 京都市予算案 事業概要

中京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実					
予 算 額	17,425千円 <small>(政策枠 745千円) 局配分 16,680千円</small>	新規・継続の別	継続 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small> 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別 局配分枠			
担 当 課	中京区役所地域力推進室(812-2420)					
[事業実施に至る経緯・背景など]						
平成25年度は「中京区民まちづくり支援事業」の充実及び様々な共済事業の実施により、区民主体のまちづくり活動が活性化した。また、都市部の交通問題対策、防災、緑化などの取組を区民との共済事業として実施している。						
[事業概要]						
平成26年度は区民提案型支援事業では補助金の充実を図る。 <u>共済型事業では、子育て支援と高瀬川を活かしたまちづくりの分野で新たに事業を開始し、交通問題、防災、緑化等の事業を充実する。</u>						
【区民提案型支援事業 ⑤4,495千円→⑥5,240千円】						
○ 中京区民まちづくり支援事業（充実） 4,665千円						
「区基本計画（第2期）の目指す将来像」の実現のため、区民主体のまちづくり事業を公募し、取組を支援する。補助金申請額の増加に伴い、予算を増額する。 など						
【共済型事業 ⑤12,255千円→⑥12,185千円】						
○ 「中京ベビーズサポートマーケット」プロジェクト事業（新規） 3,000千円						
「子育てを楽しむまち 中京区」を目指し、民間団体との協働により、子育て支援情報の発信、PRブースの設置、親子で楽しめるワークショップの開催などの事業を実施する。						
○ （仮称）高瀬川プロジェクト事業（新規） 500千円						
歴史的・文化的に価値の高い高瀬川に係わる地域の各種団体や関係行政機関によるネットワークを形成し、情報共有及びまちづくりにおける高瀬川の価値、魅力について議論する。						
○ 中京区「歩いて楽しいまちづくり」共済支援事業 500千円						
「通りの復権」をテーマに、区民が主体的に議論する「交通問題プロジェクトミーティング」を開催し、そこで生まれた提案に基づいた交通対策に資するソフト施策を企画し、実施に向けて取組を支援する。						
○ 京都みつばちガーデン推進プロジェクト事業 1,200千円						
中京区役所屋上庭園でのニホンミツバチの飼育を通して、緑の大切さを啓発することで緑被率の低い都心部での緑化を推進する。また、プロジェクトの趣旨に賛同する事業所等での養蜂も拡大する。						
○ 地域による避難所づくり強化プロジェクト 950千円						
学区別防災地図の作成、非常食の物資管理訓練及びマンション住民と連携した訓練の実施により、地域防災力の向上を図る。						
○ 中京区まちなみ緑化推進プロジェクト 200千円						
「緑あふれるまちなみ」の実現に向けて、祇園祭で飾られることの多い「ヒオウギ」の育成やハーブやミニ野菜等を栽培する「キッチンガーデン」を通して、緑化を図る。 など						

平成26年度 京都市予算案 事業概要

東山区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実					
予 算 額	13,820千円 <small>政策枠 580千円 局配分 13,240千円</small>	新規・継続の別	継続 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別 局配分枠</small>			
担 当 課	東山区役所地域力推進室(561-9105)					
[事業実施に至る経過・背景など] 平成24年度に創設した「東山区まちづくり支援事業」において、区民から初年度を上回る提案（②18件→②21件）があり、支援を行っている。						
[事業概要] 「区民提案型支援事業」においては、 <u>平成25年度予算額を大幅に超える事業提案</u> があつたことを受け、予算額を増額する。 「共済型事業」においては、 <u>東山区のさらなる魅力発信のため、新規事業「魅力再発見！歩いて楽しむ東山」に取り組む。</u>						
【区民提案型支援事業 ②5,590千円→②6,170千円】 ○ 東山区まちづくり支援事業（課題解決型・自由提案型）（充実） 3,590千円 区基本計画で示している課題の解決や地域の活性化、地域の魅力向上に資する活動を公募し、その経費の一部を補助することにより、区民協働のまちづくりを推進する。						
【共済型事業 ②7,710千円→②7,650千円】 ○ 魅力再発見！歩いて楽しむ東山（新規） 250千円 東山の歴史や文化、産業などの魅力を体験できるまち歩きコースの開発、まち歩きマップの作成等により、東山区のさらなる魅力の掘り起し・発信を行う。 など						
[参考（他都市の状況・事業効果など）]						

平成26年度 京都市予算案 事業概要

山科区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	30,615千円 <small>政策枠 845千円 局配分 29,770千円</small>	新規・継続の別 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small>	継続 <small>政策的新規充実予算枠・ 局配分枠</small>
担 当 課	山科区役所地域力推進室(592-3065)		

[事業実施に至る経過・背景など]

「区民提案型支援事業（山科“きずな”支援事業）」については、平成25年度に新たに29件の提案があり、このうち22件に補助金を交付し、多彩な取組を支援しているところである。

平成26年度についても、これまでから支援している取組に加え、新たな取組を支援できるよう予算の充実を図る必要がある。また、「共済型事業」については、地域活性化等を図るために、区民との協働により引き続き取組を進める必要がある。

[事業概要]

「山科“きずな”支援事業」については、より多くの事業を支援できるよう予算額を増額する。また、共済型事業についても、新規事業を実施する等、山科の地域特性を活かした取組を引き続き実施する。

【区民提案型支援事業 ⑤7,640千円 → ⑥8,685千円】

○ 山科“きずな”支援事業（充実） 8,360千円

区民、地域団体、NPO法人、大学等が自発的、主体的に行うまちづくり活動・事業を公募し、選考・審査を経て、補助金を交付することにより、区民等との共済・協働によるまちづくりを推進する。

【共済型事業 ⑤11,130千円 → ⑥21,930千円】

○ 山科・感動ツーリズム推進事業 11,000千円

地元住民と行政、交通事業者、旅行社等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起し、磨き上げ、プロモーションを貫して行い、山科地域の観光振興を図るとともに、京都観光の地域的な分散化や地下鉄東西線の乗客増を図る。

○ 京都橘・山科カレッジ（仮称）のオープン（新規） 300千円

京都橘大学との地域連携協定締結（平成25年9月）の記念事業として、京都橘大学との共催により、山科について広く知り、学ぶことができるよう、区民向け公開講座を実施する。

○ 一目でわかる防災情報（山科版）の作成（新規） 410千円

大規模災害発生時に、迅速かつ円滑な避難を行ってもらうために、日頃から備えておいてもらいたいことや、避難所などの位置図等を分かりやすく掲載した「市民しんぶん（山科区版）」の挿み込みを作成し、配布する。

など

【参考（他都市の状況・事業効果など）】

平成26年度 京都市予算案 事業概要

下京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	18,420千円 <small>(政策枠 660千円) 局配分 17,760千円)</small>	新規・継続の別 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small>	継続 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠</small>
担 当 課	下京区役所地域力推進室(371-7163)		

[事業実施に至る経過・背景など]

平成24年度に創設した下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業は、初年度に多数の応募があった。区民が持つまちづくりに対する熱意や発想を支援するため、平成25年度に予算を大幅に増額したが、予算額以上の応募があったことから、年々高まってきているまちづくりの機運に応えるため、平成26年度は更に予算額を増額し、支援を行う。

[事業概要]

区民提案型支援事業については、まちづくりの機運の高まりに一層応えていくため、予算額を増額し、学生や若者をはじめとした様々な主体によるまちづくり活動への支援を積極的に行う。共済型事業については、基本計画を着実に推進するため、地域コミュニティの活性化や子どもたちの健全な育成、高齢者の社会参加を推進する事業等を実施する。

【区民提案型支援事業 ⑯ 5,875千円→ ⑰ 6,535千円】

○ 下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業（充実） 5,960千円

区基本計画の推進をはじめ、子どもと高齢者などの世代間交流を進める取組、学生や若者によるまちづくりなど、下京区内における自由な発想と熱意あふれる提案による自発的、主体的なまちづくり活動を支援する。

【共済型事業 ⑯ 9,005千円→ ⑰ 11,885千円】

○ 絵本から広がる笑顔の輪（仮称）（新規） 3,000千円

「だいすき！京都。寄付金」を活用し、すべての児童が楽しく学校生活をおくれるよう、区内9小学校の児童を対象に、地域のボランティアの方々の協力を得て、大型絵本の読み聞かせや交流など実施し、児童のすこやかな育ちを支援する。

○ 下京・高齢者お出かけお助けマップ事業（仮称）（新規） 400千円

日々高齢者と接する福祉関係者の声に応じ、高齢者の居場所づくりや支援事業などを紹介する学区ごとの冊子を作成する。区社協や老人福祉センターなどの地域の福祉関係機関と連携し、地域の高齢者に配布することで、地域の行事や取組への参加を促進し、高齢者の孤立化の未然防止や団塊の世代の社会参加を図る。

○ 下京区活性化機運づくり事業（充実） 2,550千円

梅小路公園や第一市場の周辺地域、京都市立芸術大学を移転整備する方針となっている崇仁地域をはじめとする地域の魅力を発掘・発信するイベントなどを実施し、地域の活性化の機運づくりを図る。

など

[参考（他都市の状況・事業効果など）]

平成26年度 京都市予算案 事業概要

南区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実					
予 算 額	21,950千円 <small>(政策枠 720千円) (局配分 21,230千円)</small>	新規・継続の別 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small>	継続 <small>政策的新規充実予算枠・ 局配分枠</small>			
担 当 課	南区役所地域力推進室(681-3111)					
[事業実施に至る経過・背景など]						
平成24年度から当予算システムが創設され、区民提案型支援事業「みなみ力で頑張る！区民応援事業」と、共済型事業の一つとして「地域防災力強化『体験型研修』事業」をスタートさせた。「みなみ力で頑張る！区民応援事業」では、地域力（みなみ力）、福祉、安心安全、文化等の分野でまちづくりを推進する事業提案に対して支援を行っており、「地域防災力強化『体験型研修』事業」では、住民（自治連合会・自主防災会）等と協働で、避難所開設等の体験研修を実施している。						
[事業概要]						
<u>「みなみ力で頑張る！区民応援事業」について、区民主体の新たな取組を更に促進するため予算を増額し、「地域防災力強化『体験型研修』事業」をはじめとする共済型事業についても、予算執行の効率化・節減を図りつつ、取組の充実を図る。</u>						
新規事業として「だいすき！京都。寄付金」を活用し、平成27年度に迎える南区制60周年記念事業の第一弾として「マンガ記念誌」を発行する。						
【区民提案型支援事業 ②3,600千円→④4,350千円】						
○ みなみ力で頑張る！区民応援事業（充実） 4,350千円						
南区が誇る“地域力（みなみ力）”を次世代に受け継ぐとともに、まちづくりの新たな展開を図るため、区民等が主体となって取り組む活動を公募し、事業費を補助する。また、地域（自治会）主体の安心・安全の取組への支援も行う。						
【共済型事業 ②12,600千円→④17,600千円】						
○ 区制60周年記念「マンガ記念誌」の発行（新規） 5,000千円						
平成27年度に迎える南区制60周年記念事業の第一弾として、区民をはじめ南区に訪れる多くの方々に気軽に読んでいただくことを目的に、マンガによる記念誌を南区まちづくり推進会議に専門部会を設けるなど、区民参加のもと制作する。						
○ 地域防災力強化「体験型研修」事業 2,440千円						
地域防災力の強化を図り、各地域の特性に応じた避難所ごとの運営マニュアル作りを推進するため、避難所の開設・運営についての体験型研修を学区の防災訓練との共済事業として実施する。						
○ 南区企業の“知”活用促進事業 300千円						
ものづくりのまち・南区の特性を生かし、区内企業が持つ“知の財産”を紹介する講座や見学会を通じて、企業と区民の交流を促進する。						
など						
[参考（他都市の状況・事業効果など）]						

平成26年度 京都市予算案 事業概要

右京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	29,980千円 <small>(政策枠 1,260千円) 局配分 28,720千円)</small>	新規・継続の別 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small>	継続 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠</small>
担 当 課	右京区役所地域力推進室(861-1772)		

[事業実施に至る経過・背景など]

平成26年度は、平成23年度からスタートした「京都市右京区基本計画2020～右京かがやきプラン～」が、まちづくりに弾みをつけるための期間として位置付けた最初の3年間を終え、新たなスタートを迎える要の年となる。

このため、平成26年度「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」は、この3年間における取組の進捗と社会情勢や区民ニーズの変化を的確に捕捉し、「右京かがやきプラン」をさらに強力に推進するべく、以下の取組を行う。

[事業概要]

平成26年度右京区予算については、右京区まちづくり支援制度の増額等の充実を図る。共済型事業については、「災害対応力向上（水害編）プロジェクト」や、地域コミュニティの活性化を目指す「住民と利用者にやさしいまち・西院プロジェクト」、「京北ふるさとづくり促進事業」などの新規事業に積極的に取り組む。

【区民提案型支援事業 ②8,750千円→②10,090千円】

○ 右京区まちづくり支援制度（充実） 10,090千円

右京区民や大学、NPO法人等の自主的、主体的なまちづくり活動を支援し、地域コミュニティの活性化と共済によるまちづくりの推進を図る。

【共済型事業 ②19,570千円→②19,890千円】

○ 災害対応力向上（水害編）プロジェクト（新規） 1,200千円

台風18号の経験を教訓に、水害発生時における避難所運営体制や関係機関相互の情報伝達を検証し、初動機対応マニュアルの作成や水害初動訓練を実施する。

○ 住民と利用者にやさしいまち・西院プロジェクト（新規） 1,000千円

自転車問題解決と公共交通利用促進を目指した啓発を行うと同時に地域の協議体を立ち上げ、治安問題など、地域住民にとっての安心・安全をテーマに、住民や警察等とのワークショップを実施する。

○ 京北ふるさとづくり促進事業（新規） 1,500千円

新たな京北の更なる活性化を図るため、①花降る里けいほく事業の支援 ②KKB48によるPR事業 ③防災事業（マップ作成）の3事業に取り組む。
など

[参考（他都市の状況・事業効果など）]

平成26年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所・洛西支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	25,550千円 <small>(政策枠 1,100千円) (局配分 24,450千円)</small>	新規・継続の別 <small>政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別</small>	継続 <small>政策的新規充実予算枠・ 局配分枠</small>
担 当 課	西京区役所地域力推進室(381-7157) 洛西支所地域力推進室(332-9185)		

[事業実施に至る経過・背景など]

区民提案型支援事業については、多様な活動が支援できるよう、平成25年度は「地域力向上支援枠」、「草の根活動支援枠」、「公共的協働事業推進枠」、「安心・安全のまちづくり枠」の4つの枠を設定し、49件の活動に対して補助金の交付を予定している。

今後は、台風18号による災害の発生などを踏まえ、防災や子どもの安全対策など、身近な地域における安心・安全の活動に対する支援を強化していく。

[事業概要]

平成26年度についても、引き続き「～人の和・地域の輪・西京区～」をまちづくりのキャッチフレーズに掲げ、事業を推進していく。区民提案型支援事業については、予算額及び制度内容を充実させる。具体的には、「地域力支援向上枠」と「安心・安全のまちづくり枠」の上限額を引き上げ、枠全体の予算額も増額することで、地域の活性化につながる活動や安心・安全の確保に取り組む活動を積極的に支援できるようになる。また、共済型事業については、防災関係事業等の新規、充実を図り、引き続き取組を推進する。

【区民提案型支援事業 ②6,450千円→③7,550千円】

- **西京区地域力サポート事業 ほか** 7,550千円
区内でまちづくり活動を行う団体による自発的、主体的なまちづくり活動への支援を通じて西京区基本計画を推進する

【共済型事業 ②18,110千円→③18,000千円】

- **ふらっと・西京～「地域力」育成支援事業～** 1,400千円
区民等の出会い・交流・学び合いの場となる「ふらっと・西京」を開催するとともに、この取組を通して、まちづくりの新たな担い手を育成する。

- **あなたの地域に防災の出前いたします！** 100千円
町内会や子ども会など、グループ、団体からの申込により、地域に出かけ、防災の研修や講演、避難所体験訓練、災害時に役立つグッズの作成等を実施する。

- **大原野「地域ブランド」戦略の策定** 3,900千円
大原野地域を中心とした西山地域において、農業及び観光を柱とし、地域の内外どちらからも魅力ある場所として、ブランドイメージを総合的に確立するための戦略を策定し、大原野・西山地域の活性化を図っていく。

など

平成26年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所・深草支所・醍醐支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共済型まちづくり支援事業予算」の更なる充実					
予 算 額	42,765千円 (政策枠 1,675千円) (局配分 41,090千円)	新規・継続の別	継続 政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別 局配分枠			
担 当 課	伏見区役所地域力推進室(611-1295) 深草支所地域力推進室(642-3125) 醍醐支所地域力推進室(571-6105)					
[事業実施に至る経過・背景など] 平成25年度の取組状況や課題を踏まえ、区民発案の活動の実現を支援する「融合プロジェクト推進事業」について、予算を増額する等の充実を図るとともに、引き続き、第2期伏見区基本計画～皆でつくる すむまち伏見～に掲げる伏見区の将来像の実現に向けた取組を推進する。						
[事業概要] <ul style="list-style-type: none">○ 伏見区区民活動支援事業 8,750千円 伏見区基本計画に掲げる区の将来像の実現を目指し、区民自らが提案し、自らで取り組むまちづくり活動を公募し、財政的支援を行う。○ 融合プロジェクト推進事業 8,920千円 伏見区基本計画に掲げる融合プロジェクトの推進を図るため、区民自らが「知り」「行動し」「繋がる」場を作り、区民発案の活動の実現を支援する。○ モビリティ・マネジメント推進事業 1,400千円 過度な自動車利用を控え、公共交通利用を中心としたライフスタイルへの転換を図ろうとする住民主体の取組をサポートする。○ 深草まるごとつながりプロジェクト 700千円 深草地域を舞台とするアニメや深草産農産物を活用した地域活性化の取組を支援することなどにより、地域住民が交流し、にぎわいをつくりだし、つながり、互いをおもいやり、すべての人が支えあって、暮らしやすいまちをめざす。○ 醍醐・まちづくり人材育成講座（仮称） 1,500千円 地域のまちづくりの次世代を担う若い世代の住民を発掘し、ワークショップや講座等を通じ、自らが学び考え、地域コミュニティの一員として活躍していただけるよう、人材育成のための取組をサポートする。 など						
[参考（他都市の状況・事業効果など）]						